

3年 学年だより

大阪市立堀江中学校

第 19 号

60期生

“つなげ僕らの友情” ~周りを見ればいつも仲間がいる~

R1.12.9



反戦・平和学習

～3年間の軌跡～

- 1年 現在の戦争について
- 2年 大阪大空襲について
- 3年 ヒロシマから未来へ

みなさんにとって3年間の平和学習が終わりました。受験のことばかり考えていると、周りのことに目を向けることを忘れてしまいがちですが、私たちがこうしているうちに世界中では、今も戦争は起こっています。事実12月4日には、アフガニスタンでの用水路建設など多くの人々を支援し、救ってきた医師である中村哲さんが現地で何者かに銃撃され亡くなるという悲しい出来事が起きました。今こうして自分の夢や希望に向かって、みんなががんばれていることも、がんばっていることの意味があるのも、つらい時代を乗り越えて少なくとも私たちの周りが平和であるからではないでしょうか。その守るべき平和についてみなさんは3年間を通して学習してもらいました。少し振り返ってみたいと思います。

1年生の時はジャーナリストの西谷文和さんをお招きして、今現在、世界中で起こっている戦争の悲惨さを学習しました。そこでは、病気の子どもたちに薬をわた

しても、字が読めないからまともに使うことができず命を落としてしまうこと。戦争は宗教や民族の争いに見せかけているだけで、本当は戦争をすれば一部の人たちのお金もうけのためになくならないこと。そして、何の罪も無い一般の人たちがミサイルや銃撃によって一瞬で命を奪われることなどを学習しました。



H30年 平和学習

2年生では、大阪大空襲について学習しました。1945年3月13日の夜から14日にかけ、今みなさんが住んでいるこの西区や浪速区周辺も大量の焼夷弾が投下され、町が火の海になったこと。それによって多くの人が命を失い、家族を失い、家を失ったこと。そして大阪には大阪砲兵工廠があつたため狙われたのだということなどを学習してきました。



R1年 平和学習

3年目となる今年は、被爆2世である若見洋子さんをお招きして、なぜ第2次世界大戦が起ったのか。そしてなぜ広島と長崎に原爆が投下されたのか。そのときの、広島では何が起きていたのかなどを貴重な資料と共に教えていただきました。広島の平和記念公園にある記念碑には「安らかに眠って下さい 過ちは 繰り返しませんから」と主語の無いメッセージが刻まれています。このメッセージが“全世界の人が”となる日が来るよう私たちは戦争を経験していない世代にも、“絶対に戦争はいけない”ということを語り継いでいかなければならないのです。だって、「過ちは 繰り返さない」のですから。

裏面にみなさんの感想文を掲載しています。どのクラスも本当によく考えて書いてくれているのが伝わりました。(誤字脱字訂正・一部割愛しています)



H29年 平和学習

★1組 男子

歴史や人に聞いたことから戦争のことは知っていたけれど、小学6年生の頃に広島へ行って、家族といっしょに平和記念公園に行ったときは「資料だけでもこんなにおそろしいものだから再び繰り返すことが絶対ないような世界がいい」と思いました。しかし僕は中学生になって少しそのことを忘れていました。今回の機会で僕は再び戦争のおそろしさを思い出し、次は僕たちが次の世代へつないでいかなければならぬのだなと思いました。自分には関係のない話だと思っていたが、今、ご飯を食べられていることに感謝したいです。

★1組 女子

私は、今回の平和学習をうけて、戦争の悲惨さをあらためて知りました。動画で紹介されていた「はだしのゲンが伝えたいこと」では、実際に戦争を経験した作者が目の前で家族が死んでいったことを話していました。このことについて、私だったらつらくて耐えられないだろうと思いました。やっぱり誰かが痛い思いをするのは嫌なことだと感じました。これから二度と同じことがおこらないよう、一人一人が平和について考えるべきことはたくさんあると思いました。私は絵を描くことが得意なので、平和の大切さを伝えるにおいて、いかしていきたいです。

★2組 女子

私のひいおばあちゃんは、94歳なのですが、一度も戦争の話をしません。聞いても話をしてくれません。たぶん、それは思い出したくないくらい、恐ろしいことなんだろうと、そしてもう二度と、あってはいけないことだろうと思いました。

今日の話や動画などを聞いたり、見たりして、戦争中に大きい原爆があったことなど、自分が生まれる前の出来事を深く知ることができました。広島、長崎で被害にあった方たちの分まで、私は生きなければいけないと思いました。

今の時代、おいしいごはんは当たり前にあり、幸せすぎる生活を当たり前のように送っていますが、戦争中に比べると本当に恵まれすぎていて、安全な生活を送れたりしています。私たち若い世代が、自分たちが生まれる前にこのような戦争や戦争で亡くなられた方がいることをこれから伝えていかないといけないと思いました。

★2組 男子

今回の平和学習を受けて感じたことは、戦争というのは世の中で一番してはいけないことだな、ということです。僕は何度か広島を訪れたことがあります、平和資料館も訪れたことがあるのですが、当時の状況がそのまま残っており、体験はしたことないのに、体験したかのような感じがすることを覚えています。当時の広島の子どもたちは、普段と同じように朝を迎えて、学校へ通うところだったと思います。そこに、急にアメリカの飛行機であるB-29が原子爆弾を落とすとは、だれも予想していなかったと思います。被爆者の人たちが、水を求めていることから、どうにかして生きのびたいという気持ちがよく伝わってきました。戦争というのは国と国が対立して起こることなので、どの国も仲良く平和な世界を目指して、作っていてけるようになれば。戦争というのは起こらないものだと僕は思います。

★3組 女子

私たちは普段平和な生活を送っています。原爆なんてもちろん体験したことはありません。悪く言えば原爆は、私たちには関係がないし、今さら過去のことを学んでも、悲しい過去は変えられません。それでも、私たちが原爆を学ぶのは同じ過ちを繰り返さないためです。被爆した場所、被爆した人々を見て、声を聞いて、私たちが原爆はこんなにひどいものだったんだと知ることによって、もう二度とだれも悲しむことのない未来をつくるためです。確かに現在は、実際に被爆された方の数は少なくなっています。だからこそ、被爆者の話を聞いて、被爆地に言って、原爆の恐ろしさを私たちが次の代に伝えることが大事だと思いました。今回の平和学習勉強会はとても自分のためになりました。

★3組 男子

今回の話で僕はもっと広島、原爆ドームに行ってみたい、何かを感じて学びたいと思いました。お母さんのお兄さんが広島にいて、たまに行くので現地の人間に聞いたりして行きたいと思いました。平和学習はとても考えさせられて、自分が今裕福に生きていられるのは昔の人の頑張りとかがあると思うし、同級生や自分達より下の人なども命を落したりしているのでその人の分まで考えていきたいです。そしてこれから的人に伝えて、戦争とはこんなことがおこり、人々はこんなになったんだよって伝えて今よりもっといい世の中にしていきたいと話を聞いて考えさせられました。

★4組 男子

僕は、今日の話を聞いて改めて戦争の怖さや惨めさを感じました。冒頭での石碑に刻まれている文字の意味を初めて知って感動しました。日本だけではなく世界の平和を願う思いが感じられました。原爆実験の様子ではありえないような光景を目の当たりにしました。この世にその恐ろしい原爆が、とてもたくさんあるとは信じがたいが、現実であることも知りました。自國のことだけを考えた結果がそれだと思います。また僕自身も読んだことがある「はだしのゲン」の作者が、「戦争、特に核兵器を使うことは絶対にあってはならない。」という言葉にとても共感しました。

今、この感想文を書けていることも生きていることも当たり前のことではないということを感じつつ、大人になった時に小さい子どもに伝えていきたいと思います。

★4組 女子

クラスで事前学習もしましたが、今日は映像や写真など細かく説明していただき、普段の生活では絶対に知ることのなかったことまで理解しました。私は今まで原爆について知らないことのほうが多くて、落とされた時刻や原爆の名前まで詳しくわかりませんでした。戦争で何の罪もない人たちが殺されたこと、これを教えてくれる人がいるから、今、平和に暮らしているんじゃないかなと思います。私もできるならたくさんの人に原爆の恐ろしさを伝えていければよいと思います。

「はだしのゲン」の話や映像を見せてもらい今日、お話をたくさんして戦争のことを伝えようとしてくれている人がいるんだなと思いました。私も今度、ぜひ読んでみようと思いました。

★5組 男子

今日のお話を聞いてまずおどろいたのは原爆のときに落とされたものの実際の大きさがとても大きかったことです。おちたときの爆風だけではなく、そのあとの放射線によって細胞などが破壊され、死んでしまったり黒い雨のせいで死んでしまうということを聞き、どれだけ長い間苦しい思いをしていましたかが、すこしわかった気がします。家族が目の前で死にそうなところをしようがないという一言で逃げないといけないというの、とても悲しいことだったと思いました。ほかにも、普通の水を飲んだだけで、緊張がなくなって、死んでしまうということを聞いて、何をしても死んでしまう、本当につらい場面だったと思います。あと少ししたら、この原爆について、伝えることができる人が、減っていると聞いたので、自分も今日学んだことを忘れないように生きていこうと思いました。

★5組 女子

私のおじいちゃんは広島に住んでいて平和公園や原爆ドームに行ったことがあります。その場所に行くと、自然と会話してはいけないと思ってしまいます。何万人もここで亡くなったのだと思うと悲しくなります。外国人の方もたくさんいて外国にもっと原爆ドームを知ってほしいです。

広島や長崎に落とされたことは知っていましたが、他のことは全然知らないでみんなに大きい爆弾が落とされて広い範囲に影響が及ぼされていたことも知らないで、自分が情けないといました。今日聞かせていただいた事を忘れず、自分たちができる事をしていきたいです。